

2月も半ばになりました

2月は如月（きさらぎ）とも言われます。
寒い冬が終わり、春に向かって万物が動き出す時期と
いう意味だそうです。三寒四温、春はもうすぐです。



朝日に照らされる校舎

<職業製品販売会>

2月10日（金）は職業製品販売会でした。雪の予報が出る寒い一日でしたが、会場となった体育館、多目的室は生徒たちの熱気で溢れていました。

この日の午前中は、一年間職業の授業で作った製品を、生徒自らが販売します。職業の授業中、生徒たちは一つひとつ製品を丁寧に作り、農園芸班は暑い日も寒い日も畑での作業に勤しみました。製品のラッピング作業も全て生徒が行っています。当日の体育館会場づくりは、普段校内外の清掃等を担当する環境整備班の生徒が行いました。

丹精込めて作った製品を皆さんに買ってもらうことは、生徒にとってとても貴重な経験であり、これまでの取り組みに自信を深めたことでしょう。当日参加してくださった地域の皆様、保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

<体験の学習>

3学期に入り、肢体不自由教育部門が校外学習へ、また2月の初めには知的障害教育部門1年生と3年生がそれぞれ校外学習、遠足に出かけました。土日には、サッカーやバスケットボールの大会が開かれ、本校からも部活動に所属する生徒が出場しています。

今の時代オンラインが当たり前になり、仕事や勉強も、実際に行かなくても情報を得ることができるようになりました。人とのやり取りも同様です。しかし、体験してみて初めて分かり、実感として身につけることも多くあります。

職業製品販売会もそうですが、保護者や地域の方と関わる行事、また校外での学習や試合は、事前の準備や当日の体験、事後のまとめを通してたくさんのごことを学んでいます。1年間のまとめの時期、よい思い出とともに次のステージへとつなげていってほしいと思っています。

副校長 小川